

スギの飛散量、過去10年で最大 どうする？

水曜発!

今春のスギ花粉の飛散量は、過去10年で最大と予測されている。県農林総合研究センターによると、昨年11月下旬に県内50カ所で調査した結果、雄花の数量を点数化した「雄花指数」は前年比2.5倍、2001～09年の平均値の2.25倍にも上るといふ。同センターは雄花の量が増えた理由として①周期的に雄花が増える時期にあつた②昨夏の猛暑による高温少雨の影響の二つを挙げ、「条件がそろっていた」と分析する。現地でも調査に当たった担当者も「ここ何年か見たことのない状態だった。雄花がびっしりついていて」と驚きを隠さない。

環境省は先月、県内のスギ花粉の飛散開始は2月中旬ごろと予測していたが、この数日の寒さと雪の影響で少し遅くなる見込みという。スギやヒノキの花粉が1日1平方センチあたり30個以上も飛散する「ピーク期」は2月下旬ごろからで、3月中旬ごろが特に多いと予測されている。

花粉症対策グッズの売れ行きが好調な中、東区は例年以上の飛散量と予測されている。



衣服についた花粉を取れる専用ブラシは、利用者に好評という。さいたま市中央区のラフレさいたま

雄花びっしり…「強毒化」も

「今年は飛びます！ 快適な花粉対策を」

さいたま市大宮区の「東急ハンズ」では、こんなうたい文句とともに、対策グッズのコーナーを設けている。飛散量が多いという予測を受け、例年以上にスペースを広げ、品ぞろえを増強。その日の天気と花粉の飛散量もな花粉対策を」

「今年に飛びます！ 快適な花粉対策を」

さいたま市大宮区の「東急ハンズ」では、こんなうたい文句とともに、対策グッズのコーナーを設けている。飛散量が多いという予測を受け、例年以上にスペースを広げ、品ぞろえを増強。その日の天気と花粉の飛散量も

メガネ・アロマ、人気

「今年に飛びます！ 快適な花粉対策を」

さいたま市大宮区の「東急ハンズ」では、こんなうたい文句とともに、対策グッズのコーナーを設けている。飛散量が多いという予測を受け、例年以上にスペースを広げ、品ぞろえを増強。その日の天気と花粉の飛散量も

ピークは3月中旬

花粉症の季節が近づいてきた。飛散量は昨春の倍以上と予測され、要注意。「猛威」を前に、対策グッズやサービスもあれこれと出始めた。あなたはどうします？

花粉猛威 対策あれこれ

一方で、「飛散量以外にも注意すべきポイントがある」と話すのが、玉青柳・埼玉大大学院准教授（環境科学）。「飛散量は目安になるが、花粉に含まれるアレルギー原因物質の濃度なども気をつけなければならぬ」と指摘する。

王准教授によると、花粉症になる人の数は花粉量に比例しない。量自体が少ない日でも、アレルギー原因物質の濃度が高かったり、車の排ガスによって強毒化したりすれば、花粉症の症状が出やすい。交通量の多い都市部では花粉症の症状が重くなる傾向がある。

「秩父地方で放出された花粉が、風に乗って都市部に来るころには汚染されている。また都市部は舗装面が多く、車が巻き上げる風で、再び花粉が舞い上がってしまう」という。

犬だって「ハックション」

花粉症に悩まされているのは、人間だけではない。「犬にも花粉症がありますよ」と、動物の皮膚病に詳しい、そよかせ動物病院(さいたま市中央区)の山崎泰輔院長(34)。3月頃から4月ごろにかけて、例年続々と、飼い主が治療に連れてくる。症状は人間と同じで、くしゃみや目のしょぼつき。わきの下や腹部のかゆみといった皮膚炎になる犬も目立つ。スギやシラカンバ、ヨモギなどの花粉のアレルギー物質が影響しているという。対策は①犬専用のシャンプーで週に2度、全身を洗う②散歩する時は服を着せる③室内犬は空気清浄機で部屋の空気を清潔にする――などが効果的だという。

根本的に治療をあげたいという飼い主も多く、原因となるアレルギー物質を調べる血液検査が人気を集めている。2.5～5%、グラム血液を採取し、花粉をはじめ、肉や卵など40項目に対するアレルギー反応を測定する。山崎院長は「かゆみが出たようなら、まずは動物病院に行ってください」と話す。

シャンプー・服で予防



合唱楽しさ出前 県合唱連盟、学校に講師派遣

県合唱連盟が、県内の小学校や特別支援学校に指導者を派遣する「出前授業」を始めた。指導経験のある理事が1月から学校に出向いて、合唱の楽しさを伝えている。5校目となった15日は、連盟理事長の宮寺勇さん(60)が担当。さいたま市緑区の市立尾間木小学校の6年生を指導した。

体育館に集まった児童は約120人。「あなたに、何がどう」などの曲を1時間か宮寺勇・県合唱連盟理事長(手前)の指導で合唱する児童たち。尾間木小学校

けて合唱した。要点を冗談を交えながら伝える宮寺さんの指導で、最初は緊張していた児童もすて笑顔になった。丸山剛さん(12)は「気持ちよかったです。満足そうに話した。練習した曲は、卒業式の6年間の感謝を表現する歌」と披露される。

県合唱連盟は3月中旬まで講師を派遣する予定で、希望する学校を募っている。講師料は無料(交通費の負担あり)。問い合わせは連盟(048・824・8161)へ。

長寿ワンちゃん表彰

平均14歳 レストランご招待



愛犬の長寿を祝う「長生きワンちゃん表彰」(日清ペットフード主催、朝日新聞社広告局など後援)が、東京都渋谷区であった。応募者から抽選で選ばれた平均年齢14歳の愛犬9匹とその飼い主が人気レストランに招待され、フランス料理とペットフードの食事を楽しんだ。

日清ペットフードの増井隆夫社長と愛犬家でモデルの長谷川理恵さんが、9組に表彰状と記念の盾を手渡した。最高齢は羽生市の増田まりさん(32)の愛犬パンビで18歳。増井社長は生存する最長寿のイヌとして昨年、栃木県の25歳がギネス記録に認定されたことを紹介。「お集まりのワンちゃんはまだまだ若者。ぜひ記録更新を」とあいさつした。

同社は昨年11、12月に12歳以上の長寿犬を募集し、全国の571人が応じた。愛犬の写真が特設サイト(<http://dog-hyoushou/>)で紹介されている。

スカイツリー報道写真展 東京・錦糸町 25日まで

日本語教師養成講座 4月期受講者を募集

Jチケットプレゼント asNara

「ラフレ」 来月5日 早春の房 21回南房総市(南房総市)グ協会、(株)が3月 房総市主催、12月、5日、国から登録、南房総市、日本マリーチ、南房総市、会、南房総市、学校が主催、富里と、の、花やキン